

校長室通信

平成24年度 第11号

下野市立南河内第二中学校

発行者 横島 清

H24. 8. 30

1 夏休みを終えて

40日間の夏休みが終了し、これから充実の秋を迎えます。

夏休みに入る前、「当たり前前を当たり前にする夏休み」ということで、7点お願いしました。

- (1) 早寝早起き朝ご飯に心掛ける。
- (2) 勉強は毎日やる。
- (3) 部活動や習い事には必ず参加する。
- (4) 事故に遭わない起こさない。
～自分の命は自分で守る意識を持って生活～
- (5) 部活動の引き継ぎをしっかりと行う。
- (6) 家族の一員として生活する。
- (7) 公共の場を考えて行動する。



でした。

実は、これらのことは普段の生活でも心掛けて欲しいことです。身に付いた点はさらに伸ばし、まだ出来ていない点は努力して身に付けていきましょう。まずは、大きな事故なく全員が無事に夏休みを乗り切り、こうしてまたここで再会できたことを喜びたいと思います。

大津の中学生のいじめが関係した痛ましい事故についてお話をしましたが、改めてお話しします。いじめは人間として絶対に許されない行為です。もし、いじめている人がいたらすぐやめなさい。いじめられている人がいたら信頼できる人に相談してください。先生方は、相談を受けたら必ず皆さんを守ります。決して自分で命を絶ってはいけません。生きていくことが大切です。中学生は、みんなでも明るく楽しく仲良く協力して生活していきましょう。そうなるように、みんなでもつながる努力していきましょう。私は、人と人とのつながりの基本は、「あいさつ」だと考えています。いつでもどこでも誰とでも何回でも、「爽やかな笑顔溢れるあいさつ」を交わしましょう。↗



さて、3年生は、サッカー部の県大会優勝をはじめ、サッカー、新体操、水泳、陸上の各種目の団体・個人で関東全国大会出場を果たすなど好成績を収めました。また、各部とも二中生らしく爽やかに大会を締めくくることが出来ました。試合は勝者がいれば敗者がいます。頂点に立てるのは一人（1チーム）です。ですから、最後は、如何に取り組みどういう気持ちで終われたかが大切です。今後は、進路の学習に舵をしっかりと切りましょう。そのためには、一人一人の自覚と学級・学年でのムードづくりが大切です。先生方と協力して、落ち着いた学校生活に心がけチームとして進路を乗り切りましょう。

2年生1年生は、夏休み中に部活動を引き継ぎました。先輩方が残してくれた各部の精神をしっかりと引き継ぎ、自分達の個性を加味してよりよい部活動に発展させていきましょう。9月の終わりには新人大会があります。そこに照準を合わせていきましょう。

また、これから前期の締めくくりとなります。期末テストをはじめ、各行事にしっかりと取り組んでいきましょう。暦の上では、8月8日の立秋を以て秋になりましたが、その後も厳しい残暑が続いています。熱中症対策等体調管理に気をつけて生活していきましょう。そして、実りの秋、本番を迎える頃は最大の行事二中祭になります。全校一丸となって自分たちの手作りの二中祭にしていきましょう。

2 エコライフ祭へ参加

昨年度より福祉委員会を中心にして参加しているエコライフ祭に今年度も多くの生徒が参加しました。5月に1年生が作ったミニ竿燈が5本公園に飾られ、夜は電球が入り見事にライトアップされました。一人1個作ったアルミ缶のミニ提灯、クラスで1本のミニ竿燈は、地域行事への中学生としての参加の証です。毎年参加することになりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



閉会式では、東日本大震災で犠牲になられた方々への黙祷がささげられました。また、係になった1年生があいさつを述べるなど二中生の活躍がありました。



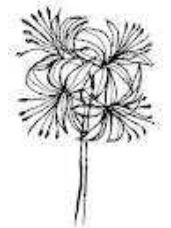
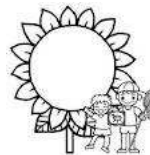
アルミ缶神輿を担ぐ生徒たち

3 ロンドンオリンピック開催

夏休み中には、4年に一度のロンドンオリンピックが開催され多くの日本選手の活躍が見られました。時差の関係で深夜や早朝の視聴になり、寝不足になった人も多いことと思います。選手の方々の努力の甲斐あって史上最高の38個のメダル獲得がありました。本県出身の方も6人がメダルを獲得しました。本校の生徒諸君からも近い将来メダリストが出ることを期待しています。今回のオリンピックで感じたことの第一は、チーム日本です。メダリストたちの話の中で多く話されていた言葉は、「みんなで」や「つなぐ」などであり連帯感が感じられ、最後は支えてくれた方々への「感謝」の言葉でした。また、「自分を信じて」「諦めなければ夢は叶う」など、トップアスリートもレベルの差はあれ、私たちと同じ思いで生活し試合に臨んできたことが分かりました。元気とやる気をもたらしたオリンピックでした。

4 今やること=自分を創る

中学時代は社会に受け入れられる自分を創っていく時代です。今までと違った新たな自分を発見し伸ばしていくときです。規則正しい生活を心がけたりみんなのことを考えて行動したり、自分で考えて変わろうとする気持ちと一歩踏み出す勇気が大切です。そして、そうしている自分を認め、そのようにしている友を認めることが大切です。基本は、良さを認め合うということです。認めて認めてもらうことが人と人との関係では大切です。相手の良さを認めることにより自分の良さも認めてもらえます。そのような好ましい関係を築いていくことを学ぶのです。自分の能力を育てることと人との関わり方を学ぶことが中学生の今は一番大切なことと思います。



ヒマワリは東を向いて咲く

ちょっと嬉しい話

サッカー部が県大会で優勝しました。夏の大会は3年ぶりの県制覇、そして今年度は春夏連覇となりました。このことは、サッカー部の不断の努力の結晶であると共に、同じ場所と時間を共有している全ての二中生にとってとても嬉しいことです。決勝戦は栃木県総合運動公園のメインコートで行われ、終了後、両校の健闘を讃え表彰式がありました。

優勝の喜びを校歌でしめくくる

そして、式後に彼らは部員全員がコートの中の一丸となり校歌を歌い出したのです。愛国心とか郷土愛とか机上で学習しますが、まさに彼らの中に愛校心の表出だったと思います。見ていた全ての人に、爽やかな南河内第二中学校を感じていただけたと思いました。

